



### まど・みちおの色紙 『ぞうさん』

まど・みちおさんの直筆歌詞。子象が自らを誇らしく歌い上げる歌詞がやわらかな文字で書かれている。水島先生の研究室の机に、大切に飾ってあります。

「100歳なのに、3歳の子どものような感性の方なんです。まどさんは絵もたくさんかかれていますが、子どもの絵を見て、『(私の絵と)おなじ!』と目を輝かせていました。固定化しない、柔軟な、世界へのやわらかいまなざしをもった『生き方の達人』のような方です。」



### まど・みちおの本たち

『まど・みちお画集 とおいところ』  
まど・みちお／絵と詩 新潮社刊

『どうぶつたち (THE ANIMALS)』  
すえもりブックス刊

『まどさんからの手紙 こどもたちへ』  
まど・みちお(文) ささめや ゆき(絵) 講談社刊

『まど・みちお えてん』  
図録／周南市美術館



### 『センス・オブ・ワンダー』

レイチェル・カーソン(著)、上遠恵子(訳)  
新潮社刊

「子どもが生まれながらに持っている素晴らしい感性を失わずにいて」と語りかけてくる名著。内なる子ども、野生の思考と言ったキーワードにつながる。「レイチェル・カーソンが一番言いたかったのは、子どもがそもそも持っている感性に、大人が隣で共感してあげることの大切さだと思います。」



### The Beatles『Sgt. Pepper's Lonely Hearts Club Band』スーパー・デラックス・ボックス・セット【完全生産限定盤】

ユニバーサル ミュージックより販売中

架空のバンドによる架空のショーという演出がなされ、世界初のコンセプトアルバムと言われる。「音楽はもちろん、ビジュアルなど全てで世界観を示している。アルバムジャケットは、歴史的人物がいて、BEATLESとお花で表して、そこにメンバーがいる。こんなジャケット、これ以前にはなかった。学ぶべきものが多いアルバムです。」

図工の先生のそのまわり

MIKATA NO MIKATA

## 図工のみかた

今号の図工のみかた、水島先生をかたちづくるもの。  
水島先生が図工について考えるその手前、  
そのまわりにある、  
大切なからもの、バイブルなどを  
教えてもらいました。



# 図工のみかた

## INTERVIEW

## 水島尚喜

(聖心女子大学教授)

「造形的な見方・考え方と子どもの見方」

本資料は、「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

日文

検索



未来をになう子どもたちへ

日本文教出版

### 表紙 『すきまちゃんがいいたいばしょ』(2年生)

窓のすき間を埋めるただのすきまテープが、すきまちゃんに。どこのすきまがお気に入りかな、あそこのすきまにはどんなすきまちゃんがいるんだろう。すきまちゃんと一緒に、すきまを探しに行けば、物語が生まれ、想像が動き出す。野生の思考が発揮される瞬間。

クリエイティブディレクター：池田晶紀(ゆかい)

アートディレクター：畑ユリエ

フォトグラファー：池田晶紀、川瀬一絵、池ノ谷侑花(ゆかい)

イラストレーション：山根諒子(ゆかい)

インタビューア：西尾真澄(リンカーベル)

## 図工のみかた 01号

日文教育資料【図画工作】

平成29年(2017年)9月30日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社  
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33368

## 日本文教出版 株式会社

<http://www.nichibun-g.co.jp/>

大 阪 本 社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171  
東 京 本 社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16  
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618  
九 州 支 社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14  
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938  
東 海 支 社 〒461-0004 名古屋市中区葵1-13-18 7F-B  
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261  
北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-11  
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690





子どもたちは、図工の時間を  
とても楽しんでいるように見えます。  
材料に出会う、表したいことを見つける。  
かんじる、ためす、つくりだす。

そのとき、子どもは何を楽しんでいて、  
どのような力を育んでいるのでしょうか。  
大人はそんな子どもに  
どう寄り添えばいいのでしょうか。

学習指導要領のキーワードと、  
図工の見方について、  
図工の味方、水島尚喜先生に  
聞きました。

語り手

水島 尚喜

(聖心女子大学教授)



子どもたちって、本当にいろいろなものを見つけますよね。タンポポの綿毛、  
ぼっかり雲、シャボン玉の表面にできた虹色。まど・みちおさんが、世界は「！」  
と「？」でできているって言うていたと思うんですが、本当にその通りで、まさに  
子どもたちはたくさんの「！」と「？」を発見しています。世界を驚きのまなざし  
で見ると、自分の中にあるセンス・オブ・ワンダーを、子どもたちはみんなもっている。でもだんだ  
ん自分の中にあるセンス・オブ・ワンダーを忘れちゃう。何かを想像するために  
とても大切なのに。  
センス・オブ・ワンダーを保つ秘訣は、先生と一緒にあって同じものをすごい  
ねって共感してあげることです。子どもの隣で大人が鏡になって返してあげる。  
先生自身の「内なる子ども」を呼び覚まして、子どもの見ているものを、すごいこ  
とと見つけたねって子どもの中で価値づけてあげる。先生の大切な役割はそこに  
あります。

はっと思うような驚きがあるから世界は楽しいし、それを保障してあげたい。  
楽しさは図工の中でとても魅力的なところ。子どもたちが目を輝かせて世界  
にのめり込んでいる様子を、先生も一緒になって楽しんでください。

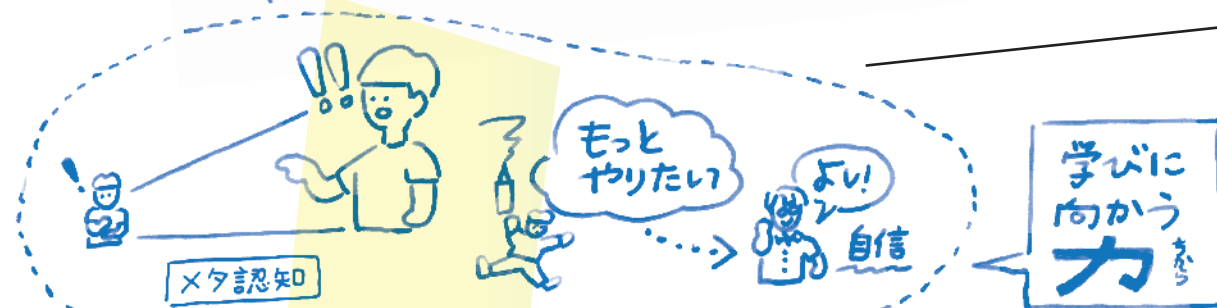


図工の  
おいしいところ

最初から自分の思い通りにいく子どもなんていないわけで、試しながら、  
真実をつかんでいきます。3歳くらいの子どもがかいたキリンの絵を見たの  
ですが、キリンの首は長いということを一生懸命表そうと、四角をいっぱい  
組み合わせさせてかいているんです。たぶんその子がかけたのは丸や四角だっ  
たらかけろぞ!というその子の発見がその絵にはあって、ものすごく感動  
的なんです。それって、知識をかいたんじゃないくて、表現だから。「自分な  
りの方法でキリンを表現した自分自身と出会えた」という楽しさが伝わって  
くる絵だから。

もしそこで大人が「キリンはこうやってかくんだよ、ほら上手にかけたね」と  
口を出してしまったら、おいしいところを根こそぎ持っていってしまうこと  
になる。子どもに、おいしい思いをさせなきゃ! 子どもたちが楽しんでい  
るのは、「すごいことを思いついた! 素敵なものを見つけた!」という発見  
であり、そんな発見をした自分自身をも見つけているからです。

図工の時間に、子どもたちが「もっとやりたい!」と言ってくることがあるで  
しょう。そしたら先生は自信をもってください。なぜならそれは、子どもた  
ちが時間の経つのも忘れるほど世界と一体化していたということであり、楽  
しんでいたということなんですから。



図工の時間、子どもたちはよくお話をつくっていますよね。それはとても自然な  
ことなんです。材料を何かに見立てたり、組み合わせたり、つながりを探  
したりという、その場にあるものをブリコラージュすることで新しい物語や価値  
をつくり出す、そんな「野生の思考」ができるのが図工の時間です。「野生の  
思考」は、人間の本来の思考方法なんです。

とかく効率的、合理的であることが求められる学校の中で、図工はそうでは  
ないあり方が許される時間です。子どもたちが「野生の思考」を発揮し、新し  
いことをどんどん思いつくような時間にするためには、先生が「何をやってもい  
いんだよ」という構え、「図工の身体」のようなものをもつといい、学生たちに  
はそう伝えています。

そもそも絵って、自由なんです。自由に自分を表現できる。鼻歌を歌いなが  
らかいてもいいし、寝そべってかいてもいい。鉛筆の持ち方だってそう。か  
き方はいろいろあっていい。「絵をかくのが上手にならないう」なんて学習指  
導要領では言っていない。上手い下手は一つの見方。「こんなすごいことを  
思いついた!って見方があるよ」と示してあげれば、子どもは「やり方っていろ  
いろある」ということを身につけていく。

図工は、人の数だけやり方があり、生き方があることを理解するための教科と  
考えてみてはどうでしょう。「こうしなきゃいけない」と思って生きるのはつらい。  
図工を身につけると、生きやすくなるんです。

図工は人生を生きやすくなる

「表現をしたあとに、  
自己はつくられる」



学習指導要領  
造形的な見か考え方

感性や想像力を働かせ、対象  
や事象を、形や色などの造形的  
な視点で捉え、自分のイメージを  
もちながら意味や価値をつくり  
だすこと。







## 『心のもよう』

絵の具を自由に試し、自分の気持ちを形・色で表せば、こころのもようが見えてくる。できたものを組み合わせたら、心の世界が広がってくる。パレットには、その跡が残っている。「できた!」のそのまえには、「思いついた! 見つけた!」がある。

(日本文教出版 図画工作 5・6上 p.8-9)

